

令和 8 年度 第 1 回 狭山市行財政改革推進委員会 会議録

開 催 日 時：令和 8 年 7 月 3 日(金) 13 時 30 分から 15 時まで

開 催 場 所：狭山市役所 6 階 602 会議室

出 欠 状 況：出席委員 7 名 欠席委員 3 名

事 務 局：企画財政部長、企画財政部次長兼企画経営課長、企画経営課担当課長、
同主幹、同主査、同主任、同主事

傍 聴 者：なし

議 事

- (1) 行政手続等におけるオンライン決済の導入について
- (2) 窓口受付時間の短縮実施後の状況について
- (3) 狭山市行財政改革指針の見直しに係る検討状況について
- (4) その他

要 旨

- (1) 行政手続等におけるオンライン決済の導入について
7 月 15 日から実施を予定している行政手続等におけるオンライン決済の導入について説明し、委員から意見等を伺った。
- (2) 窓口受付時間の短縮実施後の状況について
令和 8 年 2 月 2 日から実施している窓口受付時間の短縮について、実施後の状況について説明し、委員から意見等を伺った。
- (3) 狭山市行財政改革指針の見直しに係る検討状況について
今年度実施予定の狭山市行財政改革指針の見直しについて、検討状況を説明し、委員から意見等を伺った。
- (4) その他

資 料

- 【資料 1】 行政手続等におけるオンライン決済の導入について
- 【資料 2-1】 窓口受付時間の短縮実施後の状況
- 【資料 2-2】 令和 7 年度具体的実施項目
- 【資料 3】 狭山市行財政改革指針の見直しに係る検討状況

議事(1) 行政手続等におけるオンライン決済の導入について

「【資料 1】 行政手続等におけるオンライン決済の導入について」に沿って事務局から説明し、委員から意見等を伺った。

委 員 代理人による請求も可能なのか。

事務局	現時点ではマイナンバーカードによる認証を必須としており、不可能である。スモールスタートではあるが、徐々に展開していく想定である。
-----	--

議事(2) 窓口受付時間の短縮実施後の状況について

「【資料 2-1】窓口受付時間の短縮実施後の状況」及び「【資料 2-2】令和 7 年度具体的実施項目」に沿って事務局から説明し、委員から意見等を伺った。

委 員	受付時間外に学校と市役所の連絡が取れないという声を聞いた。本庁舎以外と市役所との連絡手段があればよいと思う。
-----	--

事務局	受付時間外も代表電話は繋がるようになっている。今後、本庁舎と市の施設との連絡が取れるようなシステムの入替など、手法を検討していきたいと考えている。
-----	---

委 員	職員の時間外勤務時間は想像よりも減少していないように感じた。残っている時間外勤務時間は窓口業務以外の業務が原因なのか。
-----	---

事務局	そのとおりである。令和 8 年 2 月はシステムの入替など、時間外勤務時間が増加してしまう要因があった。従来、職員の勤務時間と窓口受付時間が同一であったことにより必然的に発生していた時間外勤務については、窓口受付時間の短縮の効果により、令和 8 年 3 月のように徐々に減少していくと考えている。
-----	--

委 員	窓口受付時間の短縮による効果については、今後も長期的に計測していただきたい。
-----	--

委 員	市民の声について、件数も少ないことから、窓口受付時間の短縮については大多数の市民から受入れられていると考えられる。ただし、学校と市役所との連絡のように、窓口受付時間の短縮によりどうしても困難が生じるケースもあると思われる。意見の中身をよく吟味し、対応いただくことでより良い狭山市になっていくと思う。また、当審議会に共有いただくことで助力できることもあるかもしれないと考えている。
-----	---

事務局	市民の方からいただいたご意見については、データとして保管しているため、今後必要に応じて皆様にも共有させていただく。
-----	---

議事(3) 狭山市行財政改革指針の見直しに係る検討状況について

「【資料 3】狭山市行財政改革指針の見直しに係る検討状況」に沿って事務局から説明し、委員から意見等を伺った。

委 員	今の段階では状況報告と情報提供ということか。
-----	------------------------

事務局	今までは行財政改革指針に基づきご助言いただいていたことであるので、今度こういった方向で見直しを進めていきたいという報告と情報提供といった要旨である。
-----	--

委 員	DX は手段的なところであり、それにより職員の事務負担は軽減されるのであろうが、それがどのように市民に還元されるのかがよく分からなかった。狭山市は住みよい街であると思っているため、将来像などを踏まえ、
-----	--

	どのように外にアピールしていくのかという視点があっても良いのではないか。
事務局	外に向けたアピールというのは総合計画で示しており、行政運営指針においては、総合計画の目標達成に向けてどのように行政が動いていくのかを示したいと考えている。上位の計画である総合計画を支える指針でありたいと考えている。
委員	例えば協働についても、今までは住民主体だったと思われるが、ショッピングモール等も増えていることから、企業等も取り込んで開かれた行政にしていくなどの方が良いのではないか。また、上位計画あつてのものであると思うが、総合計画のこの部分によってこの指針ができているなど、橋掛けになるような部分があっても良いのではないか。
委員	進行管理の見直しについて、形骸化するというのはよくあることであり、また、難しい問題である。形骸化する理由は無理に目標を設定することにもあるので、思い切った改革も必要であると考えている。
委員	例えばサービスとは何かというように、ビジョンが抽象的でわかりにくいと感じた。狭山の魅力とは何か、狭山市をどうしたいのかというところを見据えて、指針を作成していただきたい。最近若い世代の転入者が増えていることを感じており、子育てしやすいまち、住みよい街といった声をきいている。そういったことを市民にもっと周知してよいのではないか。
委員	職員間でもどのような狭山市にしたいかというような将来のビジョンなどを日常的に話せるような、そういった場や空気があればよいと感じた。
委員	改革から運営への転換という話であったはずだが、資料上改革となっている部分が多く、どこが変化しているのか分かりにくかった。どのように転換していくかなどを示すと良いのではないか。
委員	最適なサービスをいつまでも、というのが最終的なビジョンであると思うのだが、どのように行動してここに行きつくのかということを示せると良いのではないか。
委員	DXのアクションプランについて、現時点であるものがあれば教えていただきたい。
事務局	DXのアクションプランについても今年度策定する予定となっている。
委員	改革は日常から必要であり、職員それぞれが、小さなことでも日ごろから改革を行う意識作りが必要であると考えている。

議事(4) その他

特になし

以上